

科目名	演劇概論			科目コード	0219				
開講学科	共通専門科目		単位数	4	形態				
教員名	大浦龍一				通信授業				
授業の目的及びテーマ									
歐米諸国では演劇は文学やその他の諸芸術との関わりにおいて重視されてきた。ここでは優れた鑑賞眼を持った観客の養成を第一の目的としたい。そして「演劇の多様性と本質」をテーマとしたい。									
授業概要									
多様な演劇様式の中から特に重要な四つの演劇様式(ギリシア劇、シェイクスピア劇、近代リアリズム劇、アンチ・テアトル)を取り上げる。従来のようにそれらを単に進化論的に見るのではなく、それぞれの他の様式にはない長所にも着目して、それらの独自性を戯曲(文学的視点)、上演(芸術的視点)、観客(社会的視点)の三つの視点で考察する。それらの考察から各様式の演劇的な本質を理解する。 具体的にはまず演劇全体について書かれた概説書を読んでもらい、その上で四つの課題に取り組んでもらう。各課題ではテキスト(戯曲)を読んでもらい、各々の参考文献(指定の本が手に入らない場合、他の文献でもかまわないが、必ず何を参考にしたかを書くこと)で上演と観客についての知識を得て、レポートを書いてもらう。									
授業計画									
第1回:ギリシア劇 ソフォクレス『オイディップス王』と参考文献を読んでギリシア劇の様式の特徴を2000字程度にまとめてもらう。									
第2回:シェイクスピア劇 シェイクスピア『ハムレット』と参考文献を読んでシェイクスピア劇の様式の特徴を2000字程度にまとめてもらう。									
第3回:近代リアリズム劇 チェーホフ『かもめ』と参考文献を読んで近代リアリズム劇の様式の特徴を2000字程度にまとめてもらう。									
第4回:アンチ・テアトル ベケット『ゴードーを待ちながら』と参考文献を読んでアンチ・テアトルの様式の特徴を2000字程度にまとめてもらう。									
テキスト	第1課題:ソフォクレス『オイディップス王』 新潮文庫	参考文献	概説書:河竹登志夫『演劇概論』 東京大学出版会						
	第2課題:シェイクスピア『ハムレット』 新潮文庫		西洋比較演劇研究会編『西洋演劇論アンソロジー』月曜社						
	第3課題:バーナード・ショー 『ピグマリオン』 光文社古典新訳文庫		第1課題:山内登美雄 『ギリシア悲劇 神々と人間のドラマ』新曜社						
	第4課題:ベケット 『ゴードーを待ちながら』 白水Uブックス		第2課題:ホッジズ 『絵で見るシェイクスピアの舞台』研究社						
			第3課題:中央大学人文科学研究所編 『演劇の「近代」—近代劇の成立と展開』中央大学出版部						
評価方法:									
通信授業は提出課題4件を以って評価する									